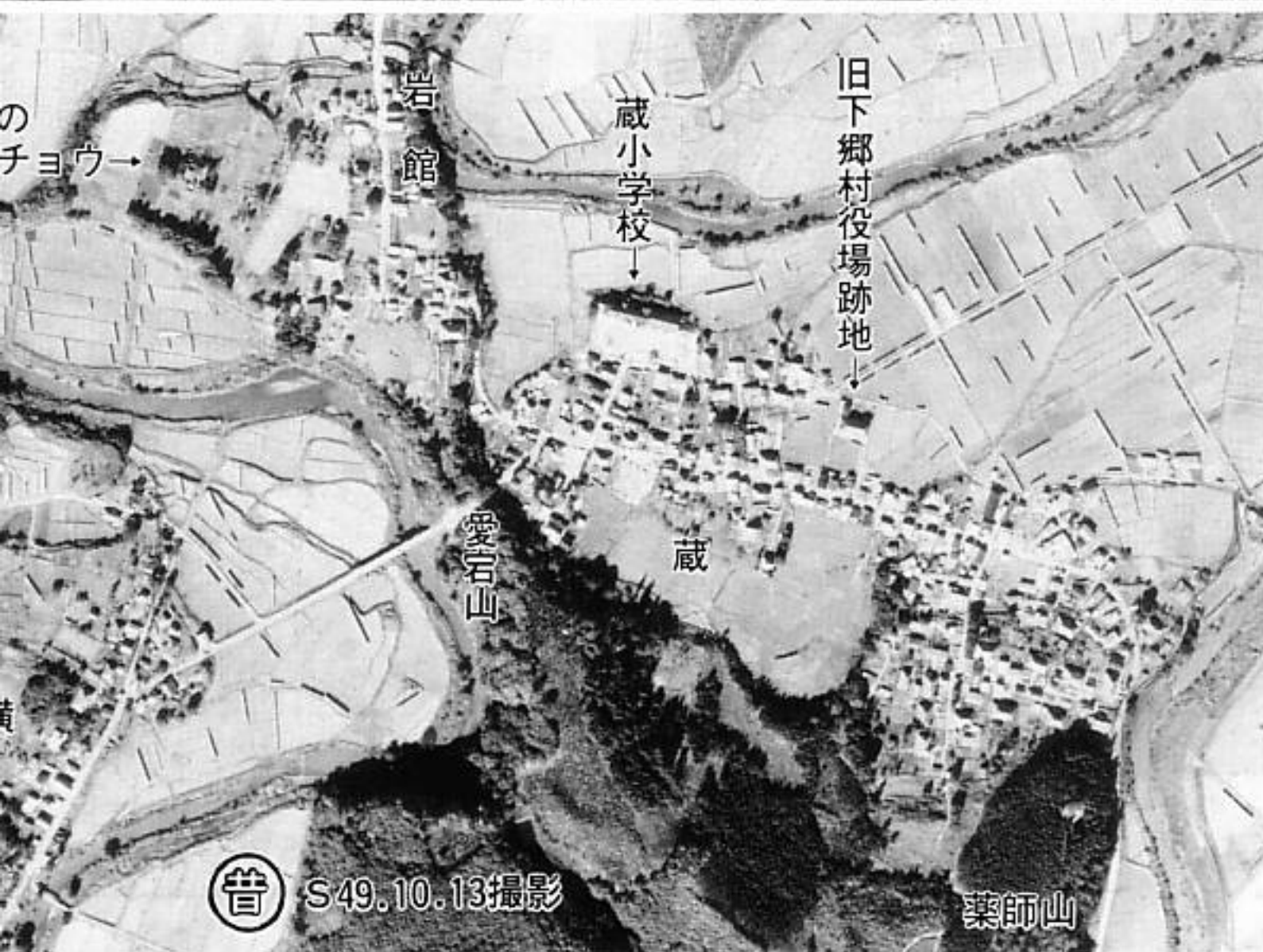


東由利町報

8月

昭和58年

No. 341 昭和58年8月1日発行 編集・発行 / 秋田県東由利町役場企画財政課 毎月1日発行



旧下郷村役場跡地に「大蔵館」

旧下郷村の中心地となった「蔵」。旧村役場跡地には現在、第二次農業構造改善事業で鉄筋コンクリート造二階建ての多目的研修集会施設「大蔵館」が建設され、地域の拠点施設として産業、文化、生活の向上に活用されています。昭和四十四年旧玉米中と統合した旧下郷中跡地は、「横渡運動場」として五十二・五十三年の二カ年にわたって整備され、運動会や野球大会など地域住民の健康増進、コミュニティづくりに活用されています。

由利十二頭の一人、小笠原内蔵人の社であった岩館・諏訪神社境内にあるイチヨウの大樹は、昭和五十七年一月県天然記念物に指定されています。

蔵集落南側には昭和五十三年から国道一〇七号線蔵工区改良工事が進められ、薬師山、愛宕山をそれぞれ貫く二つのトンネルと横渡橋の完成に伴って去る七月十五日、わら沢横渡間一、二四〇mの蔵バイパスが開通、沿線集落の交通量緩和が図られることになりました。

町長選挙

畠山氏が初当選

過去最高の投票率96・55%



畠山亮二郎氏

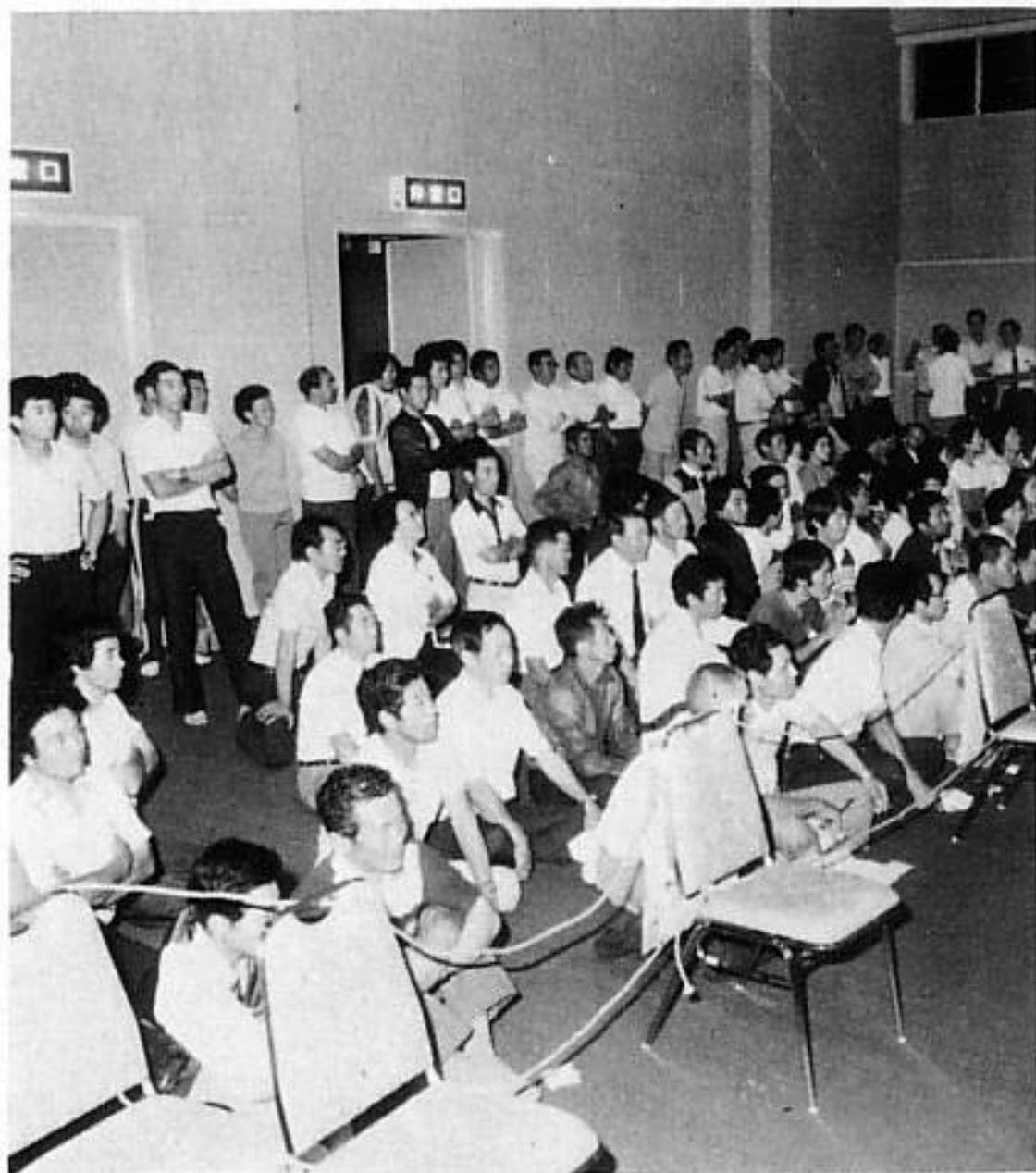
八月十九日任期満了に伴う町長選挙は、七月十六日に告示され、同二十三日投票、同日午後七時から有鄰館で開票の結果、元秋田警察署長で新人の畠山亮二郎氏(五五)無所属が二千三百二十五票を獲得、現職の小松栄男氏(六八)無所属を六十票の小差で破り、初当選を果たしました。

【町長選挙開票結果】 (敬称略)

当選 二、三三五票 畠山亮二郎 55歳 無所属新

次点 一、二六五票 小松 栄男 68歳 無所属現

▽投票総数 四、五九五票▽有効 四、五九〇票▽無効 五票▽不受理 一票▽持ち帰り 〇票▽投票率九六・五五%



8年ぶり首長選挙の開票を見守る参観人

前回(五十四年)無投票のため八年ぶりの首長選びとなった今回の選挙は、七月十六日の告示と同時に新人の畠山亮二郎氏と現職の小松栄男氏が届出、他に届出者がなく両者の一騎打ちの形で激しい選挙戦が繰り広げられました。

投票は、同二十三日午前七時から町内十三投票所で一斉に行われ、投票率は九六・五五%と前々回(五十年)の九五・五七%を大きく上回る首長選過去最高の数値となり、今回の首長選に対する町民の関心がこれまで以上に高かったことを物語りました。

【畠山亮二郎(はたけやま・りょうじろう)氏の略歴】

昭和二十二年に警察官を拝命。県警本部鑑識・秘書・捜査第一・会計の各課長、交通・刑事両部長、鷹巣・秋田両警察署長、県交通安全協会専務理事等を歴任。宿字上川原四八。

8月15日に成人式

経法大付高 野球部前監督 古城敏雄氏が記念講演

町成人式が八月十五日、有鄰館で行われます。今年の対象者は、昭和三十七年四月二日から三十八年四月一日の間に生まれた人たちで、それぞれ案内状を差し上げています。成人となったか

たで案内状が届かないようなことがあった場合は、公民館にお問い合わせください。(電話二二二一) 日程 午前7時〜 受付・20歳の顔 個人写真撮影

9時〜 式典
10時〜 記念講演
講師 秋田経済法科大学付属高等学校教諭(同校野球部前監督) 古城敏雄氏
演題 「スポーツを通しての人生観」
11時30分〜 記念撮影
12時30分〜 昼食・自由 交歓

昭和58年7月23日執行 町長選挙投票結果

投票区	当日の権数 有者	投票者数	棄権者数	投票率	内 訳	
					男	女
第1(黒淵地区)	359	344	15	95.82%	95.05%	96.61%
第2(住吉ヶ)	354	345	9	97.46%	97.63%	97.30%
第3(袖山ヶ)	172	168	4	97.67%	97.50%	97.83%
第4(館合ヶ)	960	937	23	97.60%	96.19%	98.98%
第5(松柴ヶ)	78	76	2	97.44%	94.59%	100%
第6(老方ヶ)	949	914	35	96.31%	95.01%	97.54%
第7(祝沢ヶ)	66	60	6	90.91%	83.78%	100%
第8(高村ヶ)	38	37	1	97.37%	95.00%	100%
第9(法内ヶ)	350	328	22	93.71%	91.23%	96.09%
第10(蔵ヶ)	613	596	17	97.23%	96.23%	98.13%
第11(大谷地、大台ヶ)	87	83	4	95.40%	95.56%	95.24%
第12(宿地区)	643	622	21	96.73%	96.44%	97.01%
第13(杉森・沼ヶ)	91	86	5	94.51%	93.02%	95.83%
計	4,760	4,596	164	96.55%	95.38%	97.67%

8月1日~31日 道路を守る月間



道路はみんなの財産です。

広く、美しく、安全に!

資質・体型・顔もいいモ〜!

＝第28回 町畜産共進会＝

東由利牛の祭典に107頭

「東由利牛の祭典」ともいえる町畜産共進会は七月六日、肉用牛九十八頭、乳用牛九頭を集め館合新田の上の岱グラウンドで盛大に開催されました。

年に一度、丹精込めて育てあげた自慢の牛を一堂に集め、資質、体型などを競い合うこの共進会は、今年で二十八回を数え、畜産農家お互いの飼養技術の向上、知識吸収の場として町の畜産振興に大きな役割を果たしています。

出陳牛は、さすが粒ぞろいのいづれ劣らぬものばかりで、審査員も順位の決定に苦慮する場面も見られました。会場には、出陳者はもちろん、出陳しなかった農家もおおぜい詰めかけたほか、隣町大内の和牛飼育農家もマイクロパスで視察に訪れ、血統や産地の書かれた出陳名簿と照らし合わせながら一頭一頭を見比べ、審査状況に熱い視線を送り、個体解説に聞きいっ

ていました。

一等賞一席以外の上位入賞は次のとおりです。マル内は席次。所有者敬称略。

【団体賞】

○肉用牛

- ・一位 館合和牛組合
- ・二位 久山和牛組合
- ・三位 黒淵地区和牛改良研究会

○乳用牛

- ・一位 蔵地区
- ・二位 宿地区

【黒毛和種・育成区】

- ・一等賞 ②みつひめ四の四号 下田三太郎(久保)
- ・二等賞 ①よしさかえ四号 畑山藤作(土場沢) ②はるはな二号 小松四三(上通)

【同・若牛区】

- ・一等賞 ②ふくはな五の四号 小野祐喜(宿)
 - ・二等賞 ①しんえい三号 小笠原正作(土場沢) ②ふくひめ号 小松良一(山崎)
- 【同・成牛一区】
- ・一等賞 ②みつひめ八号

下田三太郎(久保)

- ・二等賞 ①さちはな二号 伊東高雄(小倉) ②しろひめ号 菊地義一(山崎)

【同・成牛二区】

- ・一等賞 ②ひまわり号 小野長兵衛(宿)
- ・二等賞 ①はる一号 工藤末治郎(蔵新田) ②つぎは

る号 佐々木安彦(大琴)

る号 佐々木安彦(大琴)

- 【同・成牛三区】
- ・二等賞 ①きよみ五号 畑山清一(下吹) ②はる一号 佐々木昭男(大琴)

【同・繁殖雌牛群区】

- ・二等賞 なかうめ号、はるの号、みきはな号 横山隆一(石高)

この号 遠藤サト子(下小路)

- 【同高等登録群区】・第六ふくひめ号、きよひめ号、さつひめ号 佐藤好男(菰沢)

また、同共進会褒賞式の席

上、多産牛表彰が行われ、次の方々に表彰状が贈られました。(所有者敬称略)

- ・第一しんひで号(12産) 小松良一(山崎) ・あきこ号(11産) 石渡安次郎(蔵新田) ・ひさひめ号(10産) 遠藤光蔵(蔵新田) ・とつひめ号(10産) 猪股徹(畑村) ・あさえ二号(10産) 小松正慶(畑村) ・ふくしん号(10産) 石渡恭成(蔵)

【優等賞】

- 【乳用牛・ジャージー種】
 - ・ウイローロマンスマイルストンミルキー 畑山克司(島)
- 【一等賞】
- 【黒毛和種若牛一区】・なつ

【ホルスタイン種・育成区】

- ・二等賞 ①フイーランドロイヤルクリスタン 大庭喜一郎(舟木)

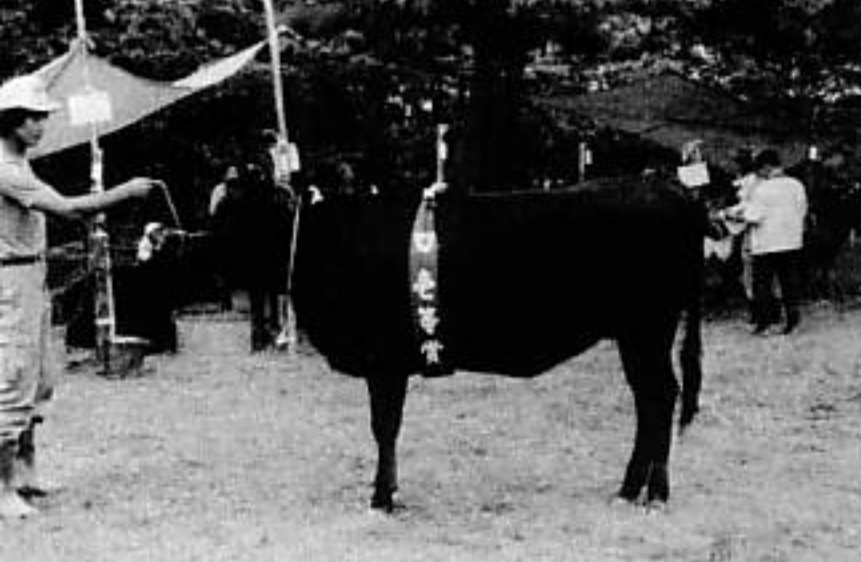
【同・成牛区】

- ・二等賞 ①ヘンガーベルド バターフォンド 小野勲一(下吹)

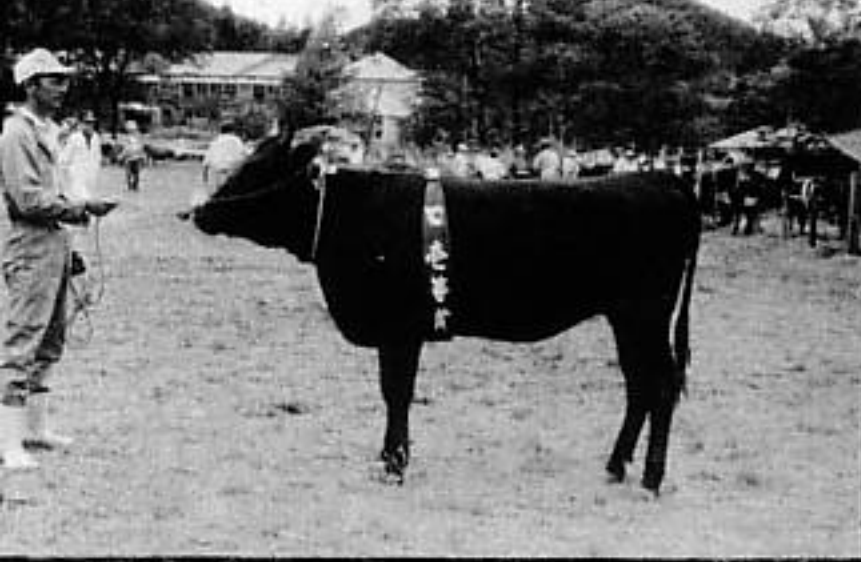
【ジャージー種】

- ・二等賞 ①ウイローロマン スジエステインコメット 畑山克司(島)

＜育成区＞ さくひめ号 小松 良一(山崎)



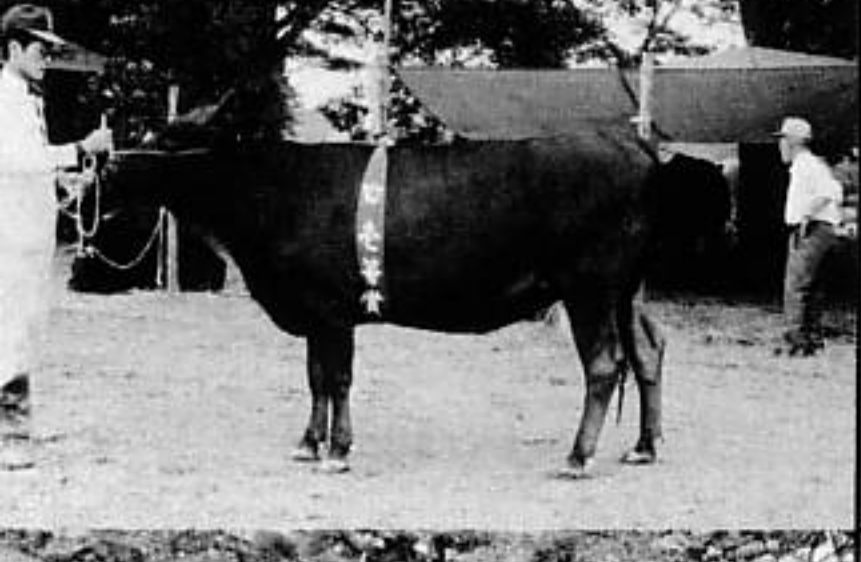
＜若牛区＞ なつこ号 遠藤 サト子(下小路)



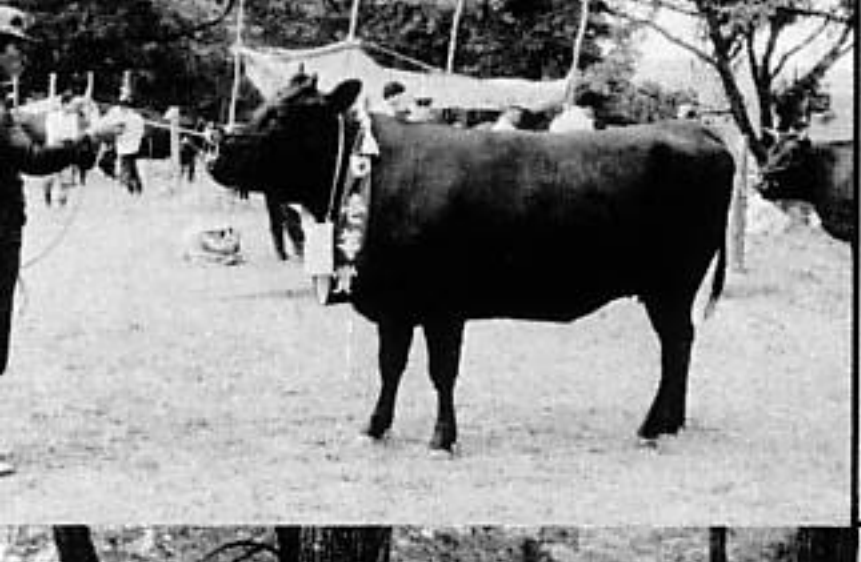
＜成牛一区＞ あきひかり号 高橋 喜久治(館合新田)



＜成牛二区＞ こことひめ号 畠山 孝一郎(石高)



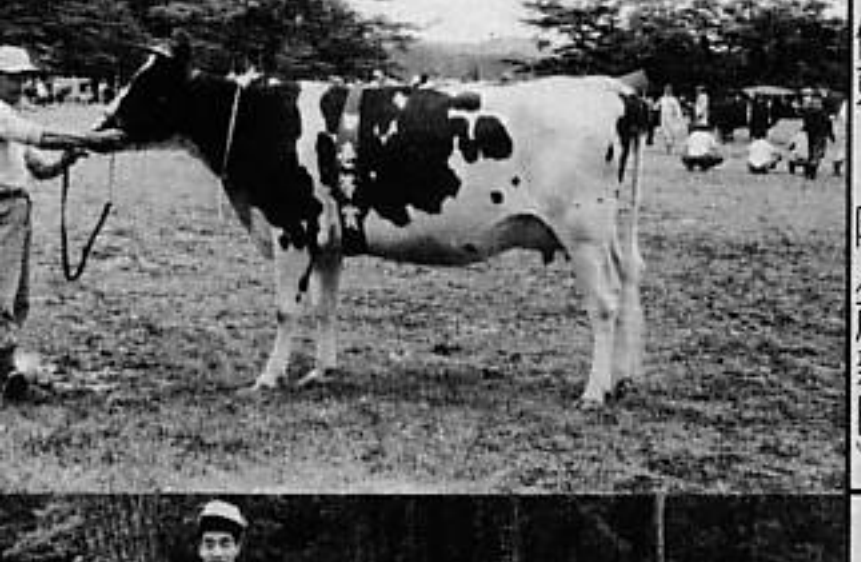
＜成牛三区＞ さつき号 渡辺 忠吾(田代)



＜ホル・育成区＞ フイーランド プレス ティンジャマリンド 大庭 喜一郎(舟木)



＜ホル・成牛区＞ ミューチュアル スターライイトキャプシュール 伊東 隆(蔵新田)



＜ジャージー種＞ ウイローロマンスマイルストンミル 畑山 克司(島)



＜繁殖雌牛群区＞ 第6ふくひめ号・きよひめ号・さつひめ号 佐藤 好男(菰沢)

国道107号線
蔵工区

蔵バイパスが開通

全線開通は今秋



西の浜し横渡間二、九〇〇メートルの国道一〇七号線蔵工区のうち、横渡地内の国道接点からわら沢間一、二四〇メートルのわゆる蔵バイパスが、七月十五日午前十時開通しました。

これは、同区間にある延長七三メートルの横渡橋、一二五メートルの愛宕トンネル、一八五メートルの蔵トンネルが完成したことによるものです。

蔵工区は、昭和五十三年から十八億四千九百万円を投じ、全幅十一メートル(歩道つき)、車道幅員六・五メートルの改良舗装工

蔵・愛宕両トンネルと横渡橋を通る蔵バイパスが開通、車の流れもスムーズに事が進められてきたもので、今秋には全線が開通する予定です。

工区の一部とはいえ、蔵バイパスの開通は、蔵地内の交通量の緩和、交通安全はもちろん、産業経済や生活文化の交流など町勢発展のうえに大きな役割を果たすものと期待され、併せて一日も早い全線開通が待たれています。

四分団が 五年ぶり総合優勝

小型ポンプ操法は五分団

「集まれ」火点は前方の標的「操作ア始め」ー今年の町消防訓練競技大会は七月八日、台山グラウンド、有鄰館前駐車場で行われ、第四分団が五年連続優勝を目指す第五分団を抑え、五年ぶりに総合優勝を飾りました。



指揮者の号令に合わせ、きびきびした動作で操作にあたる東由利消防人

大会は、前日まで悪天候に見舞われたため、開会式と消防操法競技の会場は、台山グラウンドから有鄰館前駐車場に変更されました。

この日、競技種目の通常点検及び小隊訓練には八小隊、小型ポンプ操法に十六班、自

動車ポンプ操法に四班が出場。各団員は、気合いのはいった指揮者の号令に合わせ、きびきびした動作で操作にあたり、日頃の訓練の成果を競い合いました。

また、昼食休憩時には町連合婦人消防隊員が、ハンテンや白いかつぼう着姿で首から拍子木を下げ「防火音頭おどり」を披露。参観者、団員らは、いま一度防災の誓いを新たにしていました。

競技終了後には特別参加として、館合婦人消防隊と住吉地区婦人消防隊が消火栓操法を、大琴婦人消防隊が小型ポンプ操法をそれぞれ披露。公設消防団に劣らぬ操作ぶりに、会場からはひととき大きな拍手が送られていました。

成績は次のとおりです。

- 【総合の部】
 - 第一位 第四分団(大日向 淳男分団長)
 - 第二位 第五分団(佐々木 善一 分団長)
 - 第三位 第三分団(佐藤 侑 分団長)
- 【通常点検及び小隊訓練の部】
 - 第一位 第四分団一部
 - 第二位 第四分団二部
 - 第三位 第五分団二部
- 【小型ポンプ操法の部】
 - 第一位 第五分団二部一班
 - 第二位 第四分団一部二班
 - 第三位 第二分団二部一班
- 【自動車ポンプ操法の部】
 - 第一位 第四分団一部一班
 - 第二位 第五分団一部一班
 - 第三位 第三分団一部

本町が、念願の総合優勝

市郡消防訓練大会

五分団が 県大会に出場

本荘市由利郡消防訓練大会が七月二十五日、本荘市公園前広場で行われ、町訓練大会で一位となった各分団員が郡内各市町代表の団員と日頃の訓練の成果を競いました。

本町団員は、各種目に「東由利消防人」の心意気を大いに発揮。小型ポンプ操法の部に出場した五分団二部一班(舟打場)がみごと一位となった

ほか、ポンプ車操法の部で第三位、規律訓練の部で四位の好成績をおさめ、念願の総合優勝を果たしました。

一位となった同班は、九月十六日に行われる全県消防訓練大会に本荘市由利郡支部代表として出場することになったと、活躍が期待されることになりました。



大袖水道が完成

モデル事業で布設

昭和五十五年から農村総合整備モデル事業で工事を進めてきました大吹川袖山地区簡易水道が完成し、七月九日、関係者八十人余りが出席して竣工式が行われました。

同水道は、大吹川の表流水を水源として、既設の農業用水拵から分水する形で取水。分水直後に沈砂池を設け、自

【写真上】通水式でテープカットする右から虻川由利農林事務所長、町長、小野議長「下水道完成を祝う関係者

然流下方式で大吹川浄水場に導水し、ここから大吹川配水池にポンプ圧送して大吹川・袖山・舟打場地域に給水するものです。

総事業費は一億六百万一千円で、うち五〇％は国からの補助金です。

この日関係者らは、大吹川浄水場で通水式を行ったあと、会場を袖山分館(旧袖山小学校)に移して祝賀会を行い、安全できれいな水が飲み使える水道の完成を盛大に祝いました。

工事発注情報

6月21日～7月20日発注・契約金額が百万円以上のもの

工事期間中、通行される皆さんには不便をおかけする場合がございますが、特段のご理解とご協力をお願いします。

道路改良

- 国道仁賀保矢島館合線
- ▽施工方所 石高地内
- ▽工事期限 59年1月21日
- ▽契約金額 四、八四〇万円
- ▽施工業者 大沼組
- 県道山崎鴻屋十文字線
- ▽施工方所 柴倉地内

- ▽工事期間 10月23日
- ▽契約金額 二、六三四万円
- ▽施工業者 大沼組
- 国道一〇七号線高瀬川橋補修
- ▽施工方所 蔵地内
- ▽工事期限 59年1月11日
- ▽契約金額 三、五二五万円
- ▽施工業者 村岡建設
- 町道西山線蔵蔵道橋
- ▽施工方所 蔵地内
- ▽工事期限 59年1月9日
- ▽契約金額 八〇〇万円
- ▽施工業者 東北機械製作所

- 松台線
- ▽施工方所 松台地内
- ▽工事期限 10月30日
- ▽契約金額 八八五万円
- ▽施工業者 村上建設
- 鞍骨橋
- ▽施工方所 新処地内
- ▽工事期限 9月30日
- ▽契約金額 一、二一〇万円
- ▽施工業者 佐藤組
- 鳥台線
- ▽施工方所 大琴地内
- ▽工事期限 10月20日
- ▽契約金額 一、四五〇万円
- ▽施工業者 佐々木組
- 横渡線
- ▽施工方所 横渡地内
- ▽工事期限 8月30日

- ▽契約金額 七五八万円
- ▽施工業者 広川工務店
- 後町線
- ▽施工方所 下通地内
- ▽工事期限 8月10日
- ▽契約金額 一五八万円
- ▽施工業者 佐々木組
- 国道一〇七号線蔵工区
- ▽施工方所 蔵地内
- ▽工事期限 11月2日
- ▽契約金額 六、二四〇万円
- ▽施工業者 村岡建設
- 県道橋刈横渡線
- ▽施工方所 黒沢地内
- ▽工事期限 10月15日
- ▽契約金額 二、六〇〇万円

- 局部改良
- ▽施工業者 村岡建設
- 県道山崎鴻屋十文字線
- ▽施工方所 柴倉地内
- ▽工事期限 8月29日
- ▽契約金額 一八八万五千円
- ▽施工業者 佐藤土建
- 県道橋刈横渡線
- ▽施工方所 黒沢地内
- ▽工事期限 10月11日
- ▽契約金額 一、一八六万円
- ▽施工業者 吉田工務店
- 県道橋刈横渡線
- ▽施工方所 横渡地内
- ▽工事期限 10月11日
- ▽契約金額 九八三万円
- ▽施工業者 堀内組

- 林道土場沢線(舗装)
- ▽施工方所 土場沢地内
- ▽工事期限 8月10日
- ▽契約金額 二二九万五千円
- ▽施工業者 東北ニチレキ工業
- 林道土場沢線(緑化)
- ▽施工方所 土場沢地内
- ▽工事期限 9月30日
- ▽契約金額 二六〇万円
- ▽施工業者 緑建興業
- 高屋安堵路線
- ▽施工方所 高屋地内
- ▽工事期限 8月10日
- ▽契約金額 一四三万円
- ▽施工業者 長谷山建設

- 道路維持

夏の交通安全運動 強調月間

8/1(月)～8/10(水) 飲酒運転追放

8/1(月)～8/31(水) シートベルト着用

重点

1. 子供と老人の事故防止
2. 無謀運転の防止
3. 飲酒運転の防止
4. シートベルト着用の促進

小松町長16年の功績残し退任



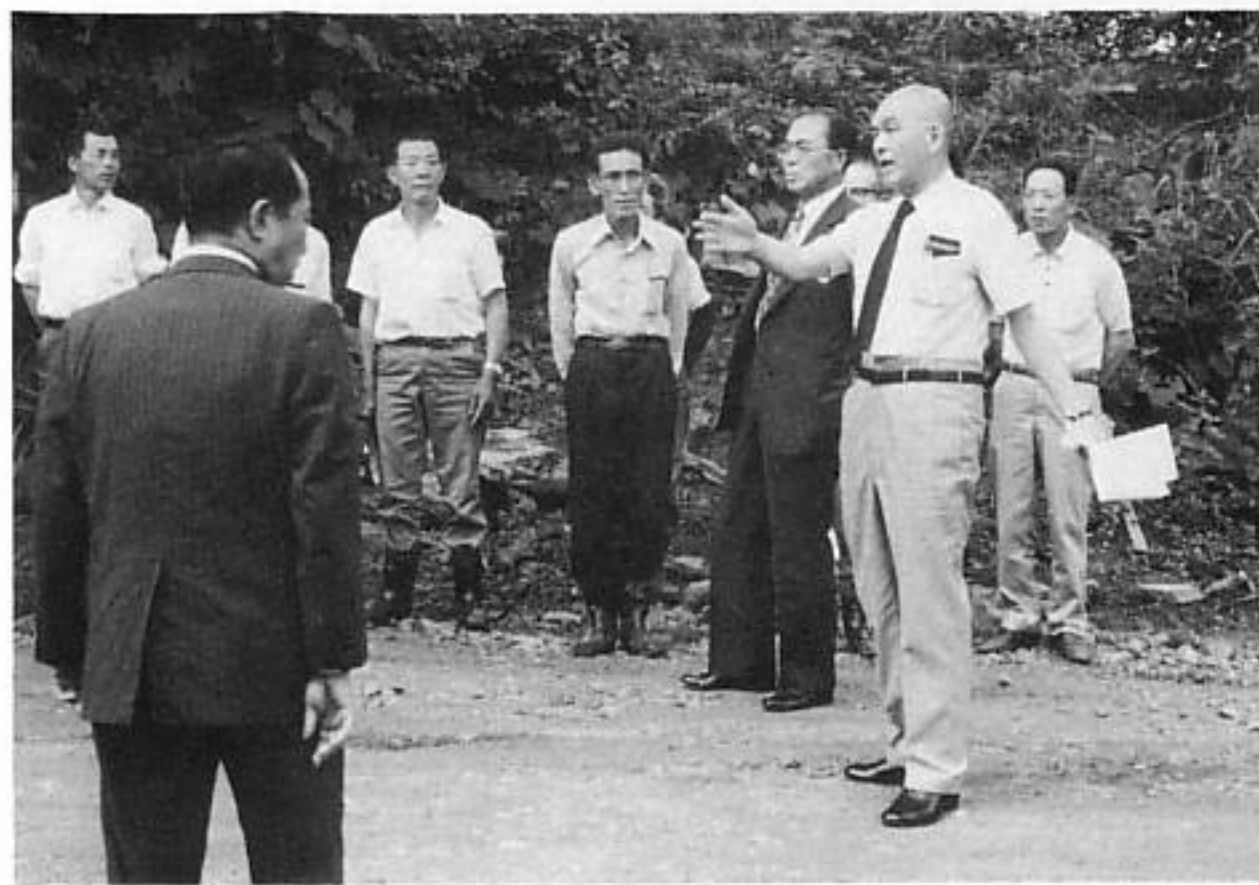
十六年間にわたって町政を担当してこられた小松栄男町長(写真)は、今月十九日で退任します。

小松町長は、昭和四十二年

【法内線を視察する村岡代議士と改良促進について協議する小松町長(昭和四十九年八月九日、小倉で)】



【佐々木知事に県道仁賀保矢島館合線の現況を説明、改良促進を要請する小松町長(昭和五十六年七月九日、須郷で)】



【仁賀保矢島館合線の改良促進を誓いガッチリ握手する左から小松町長、佐々木知事、茂木矢島町長(昭和五十六年七月九日、茶屋長根で)】



七月の村長選挙に初当選して以来、連続四期十六年間にわたって村(町)政を担当、豊かな魅力ある東田利創造の基盤づくりに全力を傾注されました。

この間、農協合併を実現させるとともに、県営ほ場整備事業や農業構造改善事業、農村総合整備モデル事業、出羽丘陵開発事業、中核林業事業など、諸々の農林業振興事業を導入する一方、国・県道から町・農・林・集落道にいた

る道路網の整備を推進。豊かな農林産資源を生かし、自然と調和した生産・生活ともに快適な町づくりに努められました。

さらに、小松町長は、簡易水道の整備、小・中学校の統合、町民グラウンド整備、老人憩いの家や総合開発センター、公民館など、文化・福祉研修集会施設等を建設、山村へき地といったイメージを払しょくし、誇りに思い、信頼と尊敬される東田利の建設に

努力されました。いま、長い間のご努力に対し、その労をねぎらうとともに、十六年間の足跡をふりかえり、そのご尽力と功績に感謝の意を捧げたいと思います。

【小松栄男町長の略歴】

昭和七年旧制本荘中卒。旧玉米村長を経て昭和三十一年から十二年間、東田利村公民館長。四十二年七月東田利村長に初当選、現在に至る。本荘由利地区農業改良普及協議会長、秋田県町村会副会長等を歴任。本荘市由利郡広域市町村圏組合議長、県林業協会理事、山村振興連盟秋田県支部理事、町社会福祉協議会長。

実施年度	事業名	事業費(単位:千円)
42	県農業近代化パイロット事業	一一、〇〇〇
43	第一期山村振興対策事業	五〇、二〇一
46	町営ほ場整備事業	一九八、三三〇
48	県営ほ場整備事業	二、八六六、〇〇〇
49	第二期山村振興対策事業	二二〇、四九一
51	第二次農業構造改善事業	一、二〇〇、二七八
52	農村基盤総合整備事業	四四二、〇〇〇
53	地域農政特別対策事業	七一、〇〇〇
54	土地改良総合整備事業	四〇七、〇〇〇
55	新農業構造改善事業	二九四、七〇七
56	農村総合整備モデル事業	一、八一七、〇〇〇
57	団体営草地開発事業	一四九、六四八
59	肉用牛生産団地育成対策事業	一〇二、一三九
60	緊急粗飼料増産対策事業	二四、六八六
61	高齢者等肉用牛飼育事業	一七、四〇〇
62	肉用牛優良素牛導入事業	三二、三四九
63	出羽丘陵開発事業	四、一〇九、〇〇〇
64	第一次林業構造改善事業	六六、八一二
65	特用林産物生産振興対策事業	七九、六九七
66	中核林業事業	二八六、二〇四
67	間伐促進対策事業	五三、三〇〇
68	森林総合整備事業	三六三、五四五
69	過疎農道整備事業(石高)	二五六、八八〇
70	農免農道整備事業(根小屋)	四九九、三八〇
71	同(軽井沢)	七三五、五〇〇
72	山村基幹農道整備事業(新沢)	二八一、七〇〇
73	広域付帯農道整備事業(高村)	六六三、一〇〇
74	開拓地道路整備事業(八塩)	二二〇、〇〇〇
75	団体営農道整備事業(須郷)	一三八、六〇〇
76	同(葦沢)	七九、〇〇〇
77	同(大台)	一九三、四〇〇
78	林道開設事業(牧山)	三八、二四二
79	県代行同(土場沢)	九六、六二〇
80	県代行林道舗装事業(同)	七八、七〇〇
81	林道開設事業(ボツメキ)	一三六、一三一
82	県単農地造成事業	一九、四一〇
83	同	同
84	同	同
85	同	同
86	同	同
87	同	同
88	同	同
89	同	同
90	同	同
91	同	同
92	同	同
93	同	同
94	同	同
95	同	同
96	同	同
97	同	同
98	同	同
99	同	同
100	同	同
101	同	同
102	同	同
103	同	同
104	同	同
105	同	同
106	同	同
107	同	同
108	同	同
109	同	同
110	同	同
111	同	同
112	同	同
113	同	同
114	同	同
115	同	同
116	同	同
117	同	同
118	同	同
119	同	同
120	同	同
121	同	同
122	同	同
123	同	同
124	同	同
125	同	同
126	同	同
127	同	同
128	同	同
129	同	同
130	同	同
131	同	同
132	同	同
133	同	同
134	同	同
135	同	同
136	同	同
137	同	同
138	同	同
139	同	同
140	同	同
141	同	同
142	同	同
143	同	同
144	同	同
145	同	同
146	同	同
147	同	同
148	同	同
149	同	同
150	同	同
151	同	同
152	同	同
153	同	同
154	同	同
155	同	同
156	同	同
157	同	同
158	同	同
159	同	同
160	同	同
161	同	同
162	同	同
163	同	同
164	同	同
165	同	同
166	同	同
167	同	同
168	同	同
169	同	同
170	同	同
171	同	同
172	同	同
173	同	同
174	同	同
175	同	同
176	同	同
177	同	同
178	同	同
179	同	同
180	同	同
181	同	同
182	同	同
183	同	同
184	同	同
185	同	同
186	同	同
187	同	同
188	同	同
189	同	同
190	同	同
191	同	同
192	同	同
193	同	同
194	同	同
195	同	同
196	同	同
197	同	同
198	同	同
199	同	同
200	同	同
201	同	同
202	同	同
203	同	同
204	同	同
205	同	同
206	同	同
207	同	同
208	同	同
209	同	同
210	同	同
211	同	同
212	同	同
213	同	同
214	同	同
215	同	同
216	同	同
217	同	同
218	同	同
219	同	同
220	同	同
221	同	同
222	同	同
223	同	同
224	同	同
225	同	同
226	同	同
227	同	同
228	同	同
229	同	同
230	同	同
231	同	同
232	同	同
233	同	同
234	同	同
235	同	同
236	同	同
237	同	同
238	同	同
239	同	同
240	同	同
241	同	同
242	同	同
243	同	同
244	同	同
245	同	同
246	同	同
247	同	同
248	同	同
249	同	同
250	同	同
251	同	同
252	同	同
253	同	同
254	同	同
255	同	同
256	同	同
257	同	同
258	同	同
259	同	同
260	同	同
261	同	同
262	同	同
263	同	同
264	同	同
265	同	同
266	同	同
267	同	同
268	同	同
269	同	同
270	同	同
271	同	同
272	同	同
273	同	同
274	同	同
275	同	同
276	同	同
277	同	同
278	同	同
279	同	同
280	同	同
281	同	同
282	同	同
283	同	同
284	同	同
285	同	同
286	同	同
287	同	同
288	同	同
289	同	同
290	同	同
291	同	同
292	同	同
293	同	同
294	同	同
295	同	同
296	同	同
297	同	同
298	同	同
299	同	同
300	同	同
301	同	同
302	同	同
303	同	同
304	同	同
305	同	同
306	同	同
307	同	同
308	同	同
309	同	同
310	同	同
311	同	同
312	同	同
313	同	同
314	同	同
315	同	同
316	同	同
317	同	同
318	同	同
319	同	同
320	同	同
321	同	同
322	同	同
323	同	同
324	同	同
325	同	同
326	同	同
327	同	同
328	同	同
329	同	同
330	同	同
331	同	同
332	同	同
333	同	同
334	同	同
335	同	同
336	同	同
337	同	同
338	同	同
339	同	同
340	同	同
341	同	同
342	同	同
343	同	同
344	同	同
345	同	同
346	同	同
347	同	同
348	同	同
349	同	同
350	同	同
351	同	同
352	同	同
353	同	同
354	同	同
355	同	同
356	同	同
357	同	同
358	同	同
359	同	同
360	同	同
361	同	同
362	同	同
363	同	同
364	同	同
365	同	同
366	同	同
367	同	同
368	同	同
369	同	同
370	同	同
371	同	同
372	同	同
373	同	同
374	同	同
375	同	同
376	同	同
377	同	同
378	同	同
379	同	同
380	同	同
381	同	同
382	同	同
383	同	同
384	同	同
385	同	同
386	同	同
387	同	同
388	同	同
389	同	同
390	同	同
391	同	同
392	同	同
393	同	同
394	同	同
395	同	同
396	同	同
397	同	同
398	同	同
399	同	同
400	同	同

合計 百六十二億八千九百四十五万円

昭和42年〜58年 主な実施事業

過去16年の主なあゆみ (S.42.7~S.58.7)

年月	事項	付記
42.7 (29)	東由利村長選挙執行	当選 小松栄男 投票率 95.62%
43.3 (1)	農村集団電話開通	加入台数 449台
4	老人家庭奉仕員設置	
5 (2)	島部落で大火	13棟焼失、損害額 1,476万円
44.4	保健婦設置	
4 (1)	下郷・玉米両中学校統合	校名を東由利中とする
11	県宮峰越林道(黒沢線)完成	延長 1,200m、幅員 4.0m
11	生活文化祭開催	以後毎年開催
45.5	米生産調整始まる	調整面積 109.6ha、調整数量 483.3 t
.5 (1)	過疎地域振興市町村に指定	過疎地域対策緊急措置法
.9 (1)	本荘由利広域市町村圏組合設置	
11 (7)	本荘高校下郷分校校舎完成式挙行(台山)	昭和43年着工、木造平屋 1,193㎡、体育館 674㎡
12 (24)	振興山村に指定	山村振興法
46.3 (8)	農協合併調印	東由利・玉米両農協
3 (27)	東由利農協発足	
4 (1)	東由利中新校舎で授業	実質統合 生徒数 498人
5	村章決定	
9	特別豪雪地帯に指定	
10 (19)	東由利中学校落成式	昭和44年着工、教室棟、管理棟・体育館・総事業費25,900万円
12	老方バイパス完成	延長 928m、車道幅員 6m
47.3 (1)	農業共済組合広域合併	由利農業共済組合となる
3 (30)	農業振興地域に指定	農振法
4	村独自のゴミ収集業務開始	
5 (1)	社会教育指導員設置	
5	村開発基本構想策定	
10 (1)	広域消防東由利分署業務開始	
12 (16)	田代へき地保健福祉館完成式	木造平屋 218.82㎡
48.4 (1)	広域ゴミ収集業務開始	
6	東由利水道完成給水開始	総工費 142,519千円、給水人口 3,640人
8 (28)	林業振興地域に指定	
10	高能率生産団地育成事業地域指定	
11 (20)	町制施行を議決	
12 (24)	蔵法内小統合議決	
49.2	有史以来の豪雪を記録	泡の淵で 380cmを記録
3 (30)	農業振興地域整備計画認可	
4 (1)	町制施行・町発足式	人口 6,736人、世帯数 1,524戸
4 (1)	蔵・法内小統合発足	校名「蔵小学校」
4 (11)	農業総合指導センター設置	
5 (4)	町制施行記念式	東由利中体育館
6 (8)	県宮ほ場整備事業起工式	
8 (12)	東由利簡易水道竣工式	
8	肉用牛生産団地指定	山崎ほか 6 団地
11	県代行町道台山線開設完成	昭和46年着工、延長 2,326m 幅員 5.5 m
11	大琴診療所新築完成	木造平屋建 194.81㎡
50.2 (1)	老人いこいの家「朋楽荘」オープン	昭和49年7月着工、床面積 468.18㎡
4 (1)	本荘高校下郷分校全日制に	
6 (25)	電話自動改式(午後2時)	加入数 1,519台
7	克雪管理センター完成	総面積 354.3㎡
8	集中豪雨被害	被害額約 7 億円
8	社会福祉協議会法人化	
9	館合簡易水道改修工事完成	昭和49年11月着工
10	特用樹林生産振興地域指定	桐樹
12	公民館完成開館	昭和50年6月着工、総面積423.4㎡
12	町民いこいの森完成	

51.4	永慶・みどり両保育園法人化	
8	国道107号線改良期成同盟会発足	本荘市・東由利町・雄物川町・平鹿町・横手市
9	法内集落農場ミニライスセンター完成	二期山振事業、処理能力30ha
52.7 (1)	高額療養費貸付制度開始	
8 (16)	町民グラウンド完成	
8	館合バイパス完成	昭和50年着工、延長1,000m 幅員 9 m
10 (1)	入院介護費支給制度スタート	
11 (1)	総合開発センター「有鄰館」オープン	昭和51年10月着工
12 (8)	黒淵診療所新築オープン	
53.2 (6)	湯出野遺跡が県指定史跡に	昭和52年8~10月発掘調査
4 (26)	祝沢分校統合式	4.1から老方小と統合
8 (19)	横渡運動場オープン	旧下郷中跡地
9	東由利農協ライスセンター完成	二次農構事業、処理能力270ha
10 (4)	小松音楽兄弟顕彰碑建立除幕式	
10	葉たばこ畑地造成	田の沢、石高、高下屋=計20ha
11	宿小新校舎完成	
11	三地区に簡易水道完成	二期山振事業、高村・黒沢奥ヶ沢
12	「八塩館」「大蔵館」完成	二次農構事業、八塩館=355.24㎡、大蔵館=405.46㎡
54.4	「教育研究所」設置	
4	「過疎対策協議会」設置	
10	黒沢・担い手センター完成	地域農政特対事業、床面積 90.26㎡
11	二地区に簡易水道完成	二期山振事業、沼・新沢
11	宿小体育館・給食施設完成	
12	松柴・祝沢に会館完成	二次農構事業、松柴=101.23㎡、祝沢=100.06㎡
55.5 (27)	七農業基盤整備事業起工式	
11	杉森に簡易水道完成	ミ二総パ事業
56.3 (18)	袖山小学校廃校式	
4 (1)	大琴小発足	宿・袖山小両小統合
6 (27)	商工会館竣工式	
11 (6)	「高瀬館」落成式	新農構事業
12 (20)	大平スキー場に照明灯・簡易リフト設置オープン	郡市初のナイタースキー場
57.1 (12)	「岩館のイチョウ」県天然記念物指定	
3 (18)	玉米小廃校式	
3 (19)	住吉小廃校式	
4 (1)	八塩小発足	住吉・玉米両小統合、旧住吉小を臨時校舎に
4 (5)	八塩小開校式	
9 (3)	「青少年育成町民会議」設立	
9	全国和牛能力共進会で優等賞受賞	山崎・小松良一さん飼養の「もりひめ号」
10 (23)	杉森集落会館落成式	ミ二総パ事業
11	東由利水道拡張事業に着手	総事業費91,300万円
12 (20)	大平スキー場拡張整備オープン	ヒュッテ新築、ゲレンデ拡張、ロープウェイ増設、駐車場整備
12 (23)	八塩小新校舎竣工式	床面積 2,452㎡
58.1 (27)	蔵・老方両小統合を議決	昭和59年4月1日開校、新校舎は「宮の前」に建設
6 (29)	蔵老方小統合校建築地鎮祭	校舎棟=2,027㎡、給食棟=376㎡、体育館=709㎡
6 (29)	町道金山線改良舗装完成	昭和52年着工、延長2,744m
7 (9)	大吹川袖山地区簡易水道竣工式	モデル事業、昭和55年着工 給水人口 182人
7 (15)	蔵バイパス開通	延長 1,240m
※	県道神岡坂部横渡線改良舗装完成	昭和40年着工
※	出羽丘陵開発事業に着手	総事業費 410,900万円

由利牛が銘柄牛に



鳥海山を圖案化した由利牛の銘柄印。今後は「中の上」以上の枝肉に押印される。

立川食肉市場で認定

銘柄「由利牛」が誕生。本荘由利地区で生産される肉用牛が七月十八日、中央四大市場の一つである東京・立川食肉市場で銘柄牛に正式認定され、由利牛の銘柄確立記念特別即売会が行われました。県内での銘柄確立は、東京・芝浦市場などで認定されている三梨牛に次いで二番目。銘柄認定後の初セリでは、一キ平均二千一百円とこれまでより平均して百円程度高い値が付けられ、好調なスタートを切りました。

「ブランド確立」を合い言葉に

市場が銘柄牛と認定することは、市場が品質を保証することを意味し、セリの際には品質について精査しなくても、買参人(卸業者)は市場の保証を信頼することになります。

銘柄牛となる条件は、出荷の▽定時性▽定量性▽定規格性。特に規格の中で品質については、常に上物以上(特上・極上)を保つことが要求され、その条件を備えているとの前提で、セリでは指し値(基本価格)がほかの牛に比べ高く設定されます。こうしたことから今後、繁殖・肥育地域一貫体系の確立を推進

和五十年十二月、本荘由利地区の肥育牛飼育農家を主体に、農協、経済連、中央会などが加わって由利地区肥育牛団地協議会を設立。「ブランド確立」を合い言葉に、肥育飼養管理技術講習会の開催や肥育牛追跡調査など、良質枝肉生産に向けて長年にわたって努力を重ねてきました。

五十五年からは、出荷先を立川市場に一本化し、共励会や展示即売会を開催するなど、積極的な売り出し作戦を展開する一方、市場との関係で最もたいせつな定時・定量出荷についても、毎週金曜日に平均七頭のトラック出荷体制を堅持してきました。

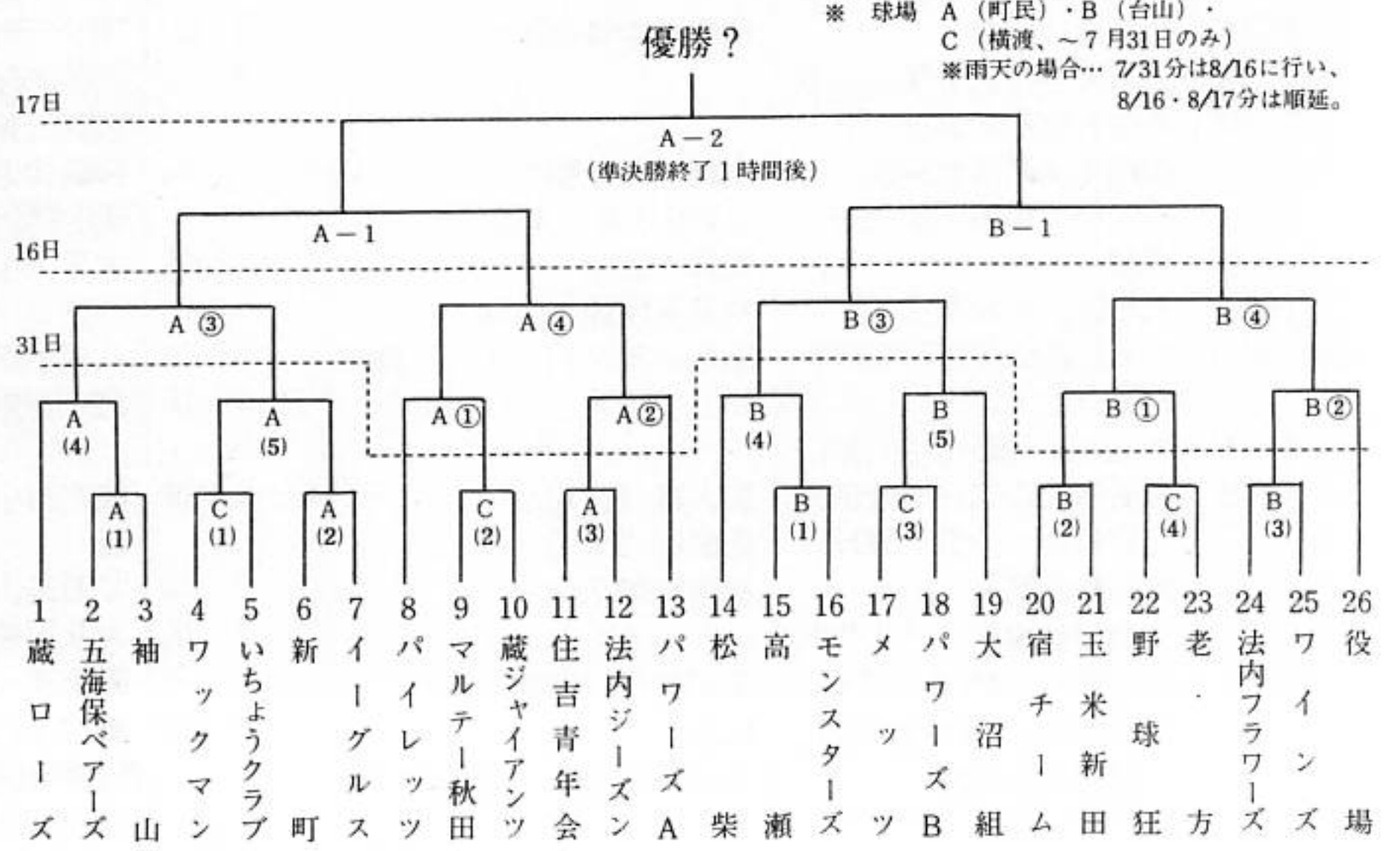
こうした努力が▽肉質が良▽枝肉の肩を切つてロース芯を見やすくしているのは立川市場では由利牛だけで、良心的▽出荷体制が確実――など市場での評価を得、念願のブランド確立に結びついたものです。

定時・定量出荷体制の充実、強化が課題

銘柄認定で一つの関門突破はしましたが、「鳥海山の自然に育まれた銘柄」をキャッチフレーズにした由利牛が今後の流通市場で、その評価を守りさらに高めて生き残っていくためには、解決しなければならぬ課題も多くあります。

第25回 東由利町社会人(夏季)野球大会組合わせ

※ 期日 7月31日・8月16・17日
※ 球場 A(町民)・B(台山)・C(横渡、～7月31日のみ)
※雨天の場合…7/31分は8/16に行い、8/16・8/17分は順延。



石井建設社長に感謝状贈る

本町出稼者の 福祉向上 安全就労 に尽力

本町出稼ぎ就労者を多数受け入れ、長年にわたって福祉向上と安全就労に尽力されたとして、町では六月二十九日、有鄰館で神奈川県足柄上郡の石井建設有限会社代表取締役石井孝雄氏に感謝状を贈りました。

同社には、本町から三十人余りが毎年出稼ぎ就労しており、そのまじめな就労ぶりは高く評価されています。

町長から感謝状を受けた石井社長は「東北の出稼ぎ就労者送出市町村から感謝状が贈られたのは、神奈川県業界へ



やがて夏休みになります。いま働きざかりの人も、そろそろ高齢者といわれる人も一様に、子供のころの夏休みの思い出を持っていきます。

家族旅行などは、いまのようにならなくてもいい。学校が休みだということ、何ともいえぬ開放感が味わえるものです。青い空、白い雲、せみの声、波の音、花火、西瓜、お祭りなど「夏休み」という言葉から楽しい連想がたくさん出てきます。

夏休みの親と子

東京都立大学 教授・心理学

詫摩武俊

受験勉強をしなくてはならない、近くに遊び友達がいないなど現代の子供の様子は変わってしまいましたが、それでも夏休みは、どの子供にとっても楽しいものです。夏休み中は、子供はたいがい身近なところにいます。親

年生の夏休みだった」と思い出せるような経験です。この計画について子供と一緒に親はよく考え、相談しながら進めてください。子供の知っていることは限定されていきますから、「こんなこともできるのだよ」と可能性を拡大

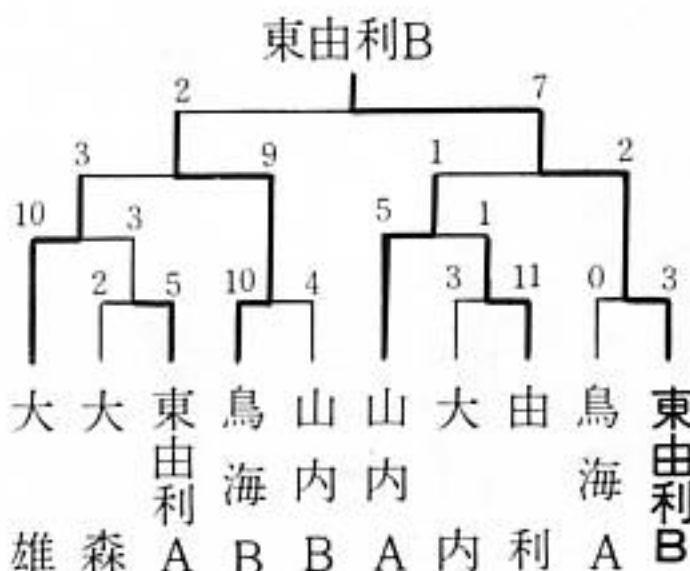
計画が決まったら、子供にも年齢に応じて何か一つ責任をもつてできる仕事を分担させるようにしてください。必要なものを整えること、切符の予約、目的地についての情報収集などいろいろあるはずですが、このようなことを成し遂げることを通して、子供は心理的に成長していくのです。親もふだんとは違う様子を子供に見せてください。親と子の相互の理解を深めることが夏休みの課題の一つなのです。



本町青年部が優勝

増田たばこ耕作組合青年部野球大会

増田たばこ耕作組合青年部野球大会が六月二十九日、十チームが参加して本町の町民・台山・横渡三グラウンドで行われ、東由利Bチームがみごと優勝、県大会出場権を勝ち得ました。



大会戦績は次のとおりです。



県大会出場権を勝ち得た町たばこ耕作振興会青年部チーム

ばい菌は水に流して!

〈食中毒予防五カ条〉

- 一、新鮮な原材料を購入し、調理したものは早く食べる。
- 二、冷蔵庫は、5℃以下を目安に管理し、清潔に。
- 三、フキン、マナ板、包丁の消毒を。
- 四、魚が原因の食中毒は、よく水洗いし、十分熱を通すことほとんど防げる。
- 五、おにぎり等が原因の食中毒は、手指の化膿菌が原因です。傷がある場合は特に注意する。

保健婦の健康家族メロ

夏になると温度や湿度が急に上がり、うっとうしいのでなんとなく食欲がなくなるものです。

しかし、食欲がないからといって、さっぱりしたものをばかり食べていると体が弱り、疲れやすくなります。

夏負けをさけるためには、まず、食欲を刺激するような工夫が大切です。

香辛料で食欲を刺激

食欲を増進させるものとして、まずマコシヨウマワサビマトウガラシニンニクマレモンマシヨウガマ香りのよい木の芽ーなどの香辛料があります。

また、スープ、すまし汁、みそ汁、煮物なども、だしのよくきいたものは、味、香りともよく、食欲増進の作用があります。

食欲不振を防ぐ三つ目の材料としてクエン酸があります。このクエン酸は、レモンや夏みかんなどの柑橘類、ウメ干し、酢などに含

まれるので、酢を使った和風サラダや中華風サラダなどを上手に献立の中に取り入れてはかがでしょうか。夏負けする原因としては、体内のビタミンB₁の消耗がみられることです。B₁が減るとエネルギーのもとである糖類やデンプン類が十分に燃焼しないので、その燃えかすが疲労の原因となって「夏は疲れ」ということになります。

B₁を多く含む豚肉、ウズラの卵、ピーナッツ、マメ類、シイタケなどに、ニラ、ネギの組み合わせを心がけることも大切です。

夜、眠れない場合は、牛乳やチーズ、小魚類に多く含まれるカルシウム分を取るようになると、神経のイライラを防ぐのに効果があります。

食事環境の注意として室内やテーブル、食器など涼しげによそおい、自分自身もさっぱりした衣服で食事にむかきましょう。



オーケストラをナマで鑑賞

京都大学交響楽団の音楽教室



聴衆を魅了した京都大学交響楽団音楽教室

町内小・中・高生を主対象とした京都大学交響楽団による音楽教室が七月十八日、東由利中学校体育館で開かれました。すぐれたオーケストラの響きをナマで鑑賞し、慣れ親しもうーと、町教育委員会が主催したものです。

同楽団は、大正五年十二月に創立し六十余年の歴史を持つ日本で四番目に古いアマチアオーケストラで、定期演奏会や地方演奏会を開くなど、活発な活動を続けています。

今回の音楽教室は、東北地方を主とした演奏旅行のスケジュールの中にセットしてもらったもので、団員一行百四人が来町しました。

プログラムは、ベートーベン作曲の「交響曲第五番」運

東由利の地名

= 38 =

明治九年に館前村と館野村が合わさって館合村となったが、「館」は「米本館」を指している。

米本館は八塩小学校の高台で、元禄七年(一六九四)の「玉米古館並に玉米殿油来聞伝之事」によれば、応仁(一四六七~六九)の頃由利十二頭の小笠原氏が古館を修築して本拠とし、今の館合・老方・住吉地区などを支配し玉米殿と呼ばれたが、慶長七年

館合

(一六〇二)最上義光が由利郡の大半を領有したことによって、玉米殿は領地を失うことになったとある。したがって米本館も廃止されたのでないか。またこの記録には米本館の出城水上館について「水上館はあら沢口の山の上にある。

つて、矢島から攻めてきたのと玉米殿が戦い、双方大勢死者を出し両者引き去り」ともある。大字の館合には小字の館の沢・館野・館前・家の下・前田などあるが、これらは米本

命」やチャイコフスキー作曲の組曲「白鳥の湖」、本町出身の小松耕輔作曲の「四匹のお馬」など十三曲。オーケストラの奏でる静かな美しいメロディ、また体育館いっぱい響きわたる力強い演奏は聴衆を魅了し、児童生徒、一般町民聴衆らは一曲ごとに手が赤くなるほど大きな拍手を送っていました。

町長日記

愛郷の辞

東由利町は、出羽丘陵に一盆地を形成し、面積一四八・五一km²、農林畜産を産業の基本として、六千の人口が苦楽を分け合っています。

本荘・横手、湯沢へ等距離の間にあつて、将来の可能性を秘めた地域です。

過去四期十六年間を振り返ってみると、まず農業生産の基盤を整備し、生産性の向上を図るため、その前提として農協合併が実現しました。

今日、圃場が整備された外、農業基盤と農村環境の各種の整備事業に多額の国費が投入され、飛躍的な改善が現実のものとなっています。



誘惑に負けない強い子供を!

一〇七号線は、日本海と太平洋を結ぶ横断国道であつて、本荘・横手間の改良期成同盟会を結成して事務局を本町に設置しました。以来八年にして蔵工区は完成し、後続工区の開設も内定しています。

六本の県道は、全て公共事業によって改良中であり、各町道、集落道の改良もそれぞれの計画によって実施されていて、本町の交通条件も急速に改善されています。

文教施策は、中学校統合後既に十年、学業にスポーツにしたいに頭角を現してきました。小学校統合も最終決定し、町民の大部分の方はこの難問の解決を歓迎しています。

社会教育施設、各集会施設も完備し、各研修に機能しています。

時代は常に動き、行政は先見と現状の間にあつて苦悩し

ます。

出羽丘陵開発は、参加者だけの課題でなく、全町としての可能性への挑戦です。「大胆にして細心」これを

出羽丘陵開発成功の合い言葉としたい。国産材時代に対応する林業改善、葉たばこ、その他の副業、技能者の能力開発等、全て目標に対して確実な足取りが求められます。

農外収入の企業誘致は、ひとり東由利だけでなく、全国農山村の課題であるだけに町民の総意を集めて対処しなければなりません。

町制施行十年を迎えようとしています。山村に日本民族の原点があります。現在のようには社会が悩み病むときには、原点への回帰が起きます。

東由利の未来を信じ、郷土を愛し憂うる人達が、真心をもって町勢の発展に努力されますことを祈念して町長日記を閉じます。

(文・畑山昭一)

8月(葉月)のこよみ

曜日	行	事
1	月	
2	火	
3	水	
4	木	結核・肺ガン未受診者検診(～5日)
5	金	全町一斉道路清掃、民生委員協議会定例会
6	土	新成人キャンプ(～7日)
⑦	日	
8	月	
9	火	
10	水	
11	木	
12	金	
13	土	
⑭	日	
15	月	町成人式、県戦没者追悼式
16	火	町社会人野球大会(～17日)
17	水	
18	木	
19	金	妊婦検診
20	土	固定資産税(2期)・国保税(1期)督促状発送
⑳	日	
22	月	
23	火	町追悼式、循環器検診未受診者検診(～26日)
24	水	
25	木	
26	金	農業委員会
27	土	
㉑	日	町民運動会
29	月	県の記念日
30	火	
31	水	町県民税(2期)納期限
摘要	8/1～8/10	夏の交通安全運動
	8/1～8/31	飲酒運転追放シートベルト着用
	8/1～8/31	道路を守る月間

蔵老方 統合小の校名募集

8月20日まで統合協事務局に

蔵・老方 小学校統合協議会では、昭和五十九年四月一日に開校する学校名を、次により公募していただきます。奮って応募してください。

【内容】
蔵・老方小学校統合協議会では、昭和五十九年四月一日に開校する学校名を、次により公募していただきます。奮って応募してください。

電々公社では、七月二十一日午前零時から、三百二十キを越える電話の遠距離料金を値下げしました。

おしらせ

町の概要

人口総数	6,225人
うち男	3,077人
うち女	3,148人
世帯数	1,433戸
面積	148.51km ²
	(58.6.30現在)

学校の統合の名にふさわしいもの。

【応募方法】 官製はがき一枚に校名。

【応募期限】 昭和58年8月20日

【応募先】 東由利町老方字台山 東由利町教育委員会内「蔵・老方小学校統合協議会事務局」

【審査及び採用】 統合協議会で審査し、教育委員会で決定する。

東由利町からのダイヤル通話料金“早見表”

- 遠距離は夜間と深夜がお得です。
- 町内は3分まで10円(本荘までと同じ)です。

主な相手局	3分までの料金		10分までの料金		30分までの料金	
	昼	夜	昼	夜	昼	夜
本荘及び由利郡内	10円		40円		100円	
秋田、横手酒田など	30		80		230	
男鹿、角館など	90		290		860	
鶴岡、湯野浜など	昼 120 夜 90		昼 400 夜 290		昼 1,200 夜 860	
能代、鷹巣花巻など	昼 140 夜 90		昼 470 夜 290		昼 1,390 夜 860	
大館、鹿角盛岡など	昼 180 夜 100		昼 600 夜 340		昼 1,800 夜 1,000	
仙台、山形弘前など	昼 230 夜 120		昼 750 夜 400		昼 2,250 夜 1,200	
福島、青森新潟など	昼 280 夜 150		昼 930 夜 500		昼 2,770 夜 1,500	
いわき、函館宇都宮など	昼 360 夜 200		昼 1,200 夜 670		昼 3,600 夜 2,000	
東京、札幌・大阪、鹿児島など	昼 400 夜 240 深 220		昼 1,340 夜 800 深 710		昼 4,000 夜 2,400 深 2,120	
昼間(昼) 午前8時～午後7時	夜間(夜) 午後7時～午後9時 午前6時～午前8時		深夜(深) 午後9時～午前6時			

↑ この区間への日曜・祝日の通話は夜間通話料金と同額(安く)なります。

これは、近距離通話との格差是正を図るためのもので、昭和五十五年の深夜割引、五十六年の五百キを越える地域への通話料金値下げと日曜・祝日割引実施に続いて三度目。今回の改正により、東京・大阪・鹿児島など三百二十キを越えれば、日本全国どこへかけても、昼間三分間は四百円、深夜三分間は二百二十円となりました。

東由利町からのダイヤル通話料金は、別表“早見表”のとおりです。

※電話局の窓口で料金表を差し上げています。

【第二回町バスケットボール大会】主催：町バスケットボールクラブ・公民館(七月三日、東由利中体育館)一

〔男子〕(参加八チーム、トーナメント戦)

①蔵青年会 ②法内青年会

慶弔だより

6月21日～7月20日受付 (敬称略)

- 〇〇〇〇〇
- 遠藤 大 下小路 覚 長男
阿部 竹也 宮の前 竹一 長男
小松 登和子 松柴 文雄 長女
高橋 奈津美 館合新田 和夫 長女
遠藤 洋 蔵新田 五男 長男
阿部 康浩 小倉 一郎 二男

〇結婚

大庭 忠清 畑村
高橋 志保子 雄物川町
小松 正二 向田
小松 千鶴子 下小路

・お悔み申し上げます
大庭 初蔵 舟木 86歳

〔第二回春季バレーボールクラブカップ大会〕主催：町体育協会(七月十一日～十六日、東由利中体育館)一

・参加十チーム、リーグ戦。

①ジジババクラブ ②山崎イグルス ③宿チーム・玉米新田チーム

〔個人賞〕

・ナイスアタック賞 鞆崎和博(山崎)

・ナイスサーブ賞 小松重文(山崎)

・ナイスセッター賞 島山孝夫(ジジババ)

- ③スキークラブ・新町ポバイ(女子) (参加三チーム、リーグ戦)
- ①任吉青年会 ②蔵青年会 ③法内若妻会
- 〔最優秀賞〕
- ・男子 遠藤 晃(法内青)
- ・女子 佐藤睦美(蔵青)
- 〔バスケットボールクラブ賞〕
- ・男子 阿部悟朗(スキーク)
- ・女子 阿部幸子(法内若)

